

都市計画道路を考える 小金井市民の会

第50号 2020年6月11日
発行 都市計画道路を考える
小金井市民の会

連絡先 電話090-7847-3968 (事務局:阿部)

東京都知事に要望書提出——都内41の住民団体 「コロナ危機の中、不要不急の都市計画道路事業は直ちに凍結・中止を」



都知事秘書に要望書を提出

5月19日、都内の41の都市計画道路事業の見直し・中止を求めている住民団体が「コロナ禍の歴史的危機の中、不要不急の都市計画道路事業は直ちに凍結・中止を」求める要望書を小池東京都知事と石川都議会議長に提出しました。

小金井から「都市計画道路を考える小金井市民の会」(3・4・11号線関係住民の会)「はけの自然と文化をまもる会」が要請団体になりました。

要請書は、現在の国や東京都のコロナ対策が未曾有の危機への適切な対応になっておらず、国の予算も、PCR検査や医療現場への財政支援がわずかに留まっていることを指摘しています。また、都市計画道路の事業費の半額は国庫補助となっているため、事業を中止・凍結すれば国の歳入を大きく削減でき、コロナ対策を大きく増やすこ

とができ、経済活動自粛のなかで、今後の税収が大きく減ることが予想される現在、東京都が不要不急の道路事業の凍結・中止を決断することを求めています。その後、都議会の8党派の控室を訪問し、協力を要請しました。

東京都副知事が通達

都民の「命」と生活をまもるための事業の見直し指示——都市計画道路事業も対象——

5月19日の都知事への申し入れ行動に先立って、都庁内で、行われた打ち合わせ会議で、日本共産党の曾根都議から、以下のとおり、都副知事4人連名での「依命通達」があったことが報告されました。

東京都は5月5日、東京都副知事4人が連名で、「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた当面の都政の運営について(依命通達)」を出して、都の職員全員に「現下の都政の状況と課題を職員に十分周知徹底」することを指示しました。

都は、新型コロナウイルスの感染拡大から都民の「命」を守り、生活と経済活動をしっかり支えることなどの3つの柱を掲げました。

そのなかで、【既存事業の分類の視点】として、速やかに休止する事業に、「都民の生命・財産への直接の関連性が低く直ちに取組む優先度が低い」と考えられる事業のうち、未着手、未発注、一時停止が可能な事業は、原則延

小金井市が「基本構想」パブコメ募集
小金井市が今後10年間の進むべき道を示す第5次基本構想案の意見募集を始めたことが「市報こがねい」(6/1)で明らかになりました。公民館等に置かれています。これには「都市計画の整備」も掲げられています。(募集期間7月10日まで)

期又は中止することとし、延期とするか、中止とするかは、感染症の状況や各事業の趣旨等を踏まえ、個別に判断することとしています。

その【具体的な事業の例】に、「都市開発の推進」「街路整備」などが明記されています。

都市計画道路事業は、東京都の事業では「街路整備」に含まれています。この通達は、不要不急の都市計画道路事業に関する予算執行、職員の業務は直ちに中止すべきものとなります。

都知事選立候補表明者の政策

東京都知事選の立候補表明者のなかで、都市計画道路について表明した方を紹介します。(6/7現在)

【宇都宮けんじ氏】5/27

6. 道路政策(外環道、特定整備路線、優先整備路線)を見直す～地域住民の意見に耳を傾ける。

「市民の会」のホームページ ⇒ [小金井道路市民の会](https://koganeiroad.jimdo.com/) <https://koganeiroad.jimdo.com/>

「市民の会」のフェイスブック ⇒ [都市計画道路を考える小金井市民の会](#)

優先整備2路線アンケート結果 多くの市民が道路事業化に心配の声

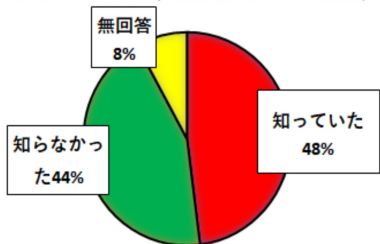
小金井市が2・3月におこなった優先整備の2路線(3・4・1号線と3・4・11号線)についておこなったアンケートの結果が明らかになりました。回答した市民の多くが道路事業を心配していることが示されています。

★ アンケート郵送3000人
回答数 903人

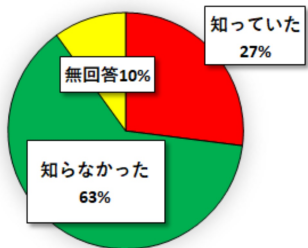
★ 設問1 2路線が優先整備路線に 選定されたことを知っていますか
318人
(35.2%)、

知らなかった501人

2路線に関する地域 (東町、前原町、中町1・4丁目、貫井南町1・2丁目)

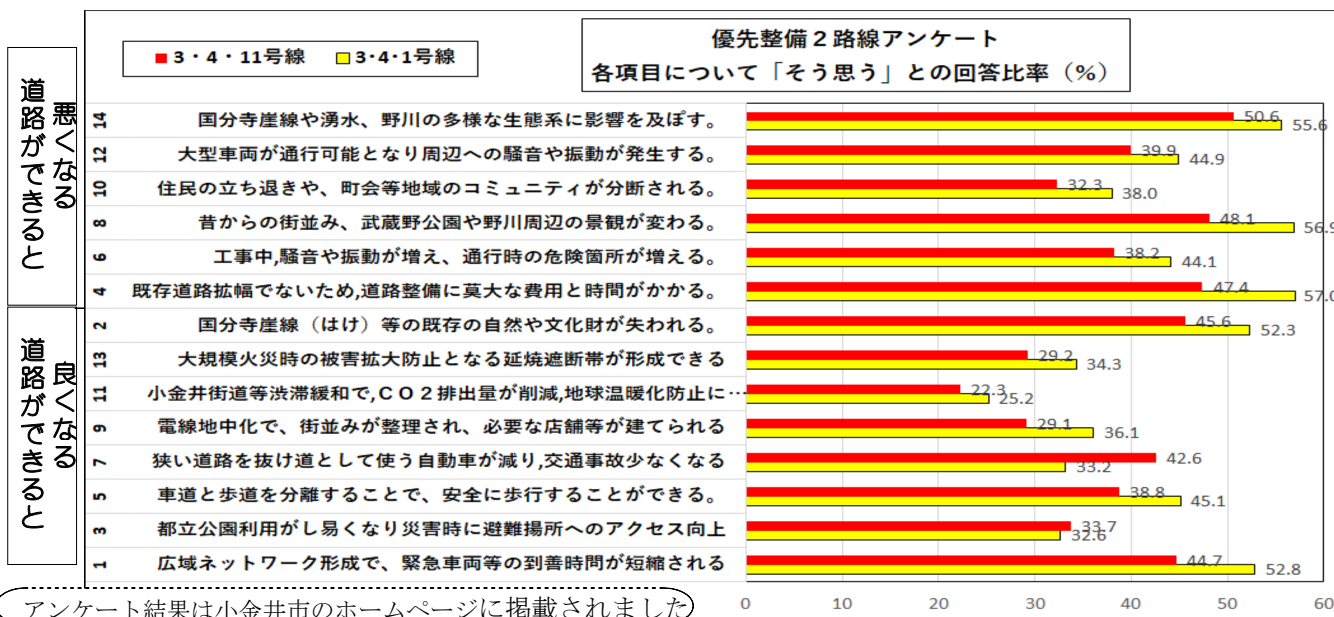


2路線以外の地域



東京新聞(6月9日)にアンケート結果と都内市民団体の都知事要望書提出の記事が掲載

★ 2路線に係る地域とそれ以外の地域でそれぞれ、優先整備路線のを知っていたか(左の円グラフ)。
★ 設問2 各項目に対して、「そう思う」と回答した人の割合(下記に棒グラフ)。
このグラフは市の資料をもとに市民の会事務局で作成しました。
西岡市長は、この結果を東京都知事に報告するとともに丁寧な対応と現地視察を求め要望書を提出しました。



アンケート結果は小金井市のホームページに掲載されました

<4月以降の活動経過>

- 4月2日 世話人会(新型コロナウイルスのため中止)
- 5月7日 世話人会(新型コロナウイルスのため中止)
- 5月19日 東京都知事と都議会議長に「コロナ禍の歴史的危機の中、不要不急の都市計画道路事業は直ちに凍結中止を」求める要望書を都内41の住民団体連名で提出
- 6月11日 第50回世話人会

<今後の日程>

- 7月9日 第51回世話人会

<他地域の裁判・集会など>

- 6月27日 東京外環道工事差止仮処分申し立て
新型コロナの関係で他の裁判・集会の日程は未定です

小池都知事の4年前の公約は?

小池都知事、4年前の都知事選でははけの自然と文化をまもる会のアンケートに答えて、次のように回答しています。

「このたび東京都が優先整備路線に決定した小金井市内の2路線に関しては、以下のような課題の指摘があると聞いております。優先整備路線の決定にあたっての意見書の提出件数も群を抜いており、知事に就任させていただきましたら、実際に巡視し、小金井市、小金井市議会、地域住民の皆様とも対話し、優先整備路線に位置付けることが不適切だと判断される場合には、必要に応じ、見直しを進めていきたいと考えております。」

これだけ、わかりやすい公約、どうして守れないのでしょうか。